

平成23年度決算の概要

平成23年度の全会計の決算状況は第1表のとおりで、収入済額 4,834,145,373円、支出済額 4,561,613,309円 歳入歳出差引額 272,532,064 円、翌年度繰越財源額 105,209,000円となっています。

第1表 平成23年度歳入歳出決算額

(単位:円, %)

会計名	予算現額	決算額			翌年度繰越財源	執行率		
		収入済額	支出済額	差引額		歳入	歳出	
一般会計	4,213,675,000	3,652,801,604	3,474,132,673	178,668,931	105,209,000	86.7	82.4	
特別会計	国民健康保険	102,146,000	104,347,561	88,011,714	16,335,847		102.2	86.2
	介護(事業勘定)	65,209,000	76,056,856	59,907,885	16,148,971		116.6	91.9
	介護(サービス勘定)	1,101,000	1,069,203	1,069,203	0		97.1	97.1
	船舶交通	875,091,000	907,543,667	846,274,164	61,269,503		103.7	96.7
	簡易水道	88,840,000	85,944,280	85,944,280	0		96.7	96.7
	後期高齢者医療	6,397,000	6,382,202	6,273,390	108,812		99.8	98.1
	(小計)	1,138,784,000	1,181,343,769	1,087,480,636	93,863,133	0	103.7	95.5
合計	5,352,459,000	4,834,145,373	4,561,613,309	272,532,064	105,209,000	90.3	85.2	
比較	22年度	5,626,359,976	4,669,286,359	4,455,528,057	213,758,302	115,434,000	83.0	79.2
	増減額(23-22)	△ 273,900,976	164,859,014	106,085,252	58,773,762	△ 10,225,000	7.3	6.0
	増減率 %	△ 4.9	3.5	2.4	27.5	△ 8.9	8.8	7.6

第2表 平成22年度歳入歳出決算額

(単位:円, %)

会計名	予算現額	決算額			翌年度繰越財源	執行率		
		収入済額	支出済額	差引額		歳入	歳出	
一般会計	4,422,070,976	3,499,120,802	3,315,873,733	183,247,069	115,434,000	79.1	75.0	
特別会計	国民健康保険	106,365,000	109,841,199	98,809,417	11,031,782		103.3	92.9
	老人保健医療	245,000	3,285	3,285	0		1.3	1.3
	介護(事業勘定)	83,572,000	82,816,929	75,673,002	7,143,927		99.1	90.5
	介護(サービス勘定)	722,000	688,691	688,691	0		95.4	95.4
	船舶交通	929,031,000	906,017,144	893,748,776	12,268,368		97.5	96.2
	簡易水道	76,642,000	63,224,938	63,224,938	0		82.5	82.5
	後期高齢者医療	7,712,000	7,573,371	7,506,215	67,156		98.2	97.3
	(小計)	1,204,289,000	1,170,165,557	1,139,654,324	30,511,233	0	97.2	94.6
合計	5,626,359,976	4,669,286,359	4,455,528,057	213,758,302	115,434,000	83.0	79.2	

一般会計の概要

平成23年度の一般会計の決算額は、歳入総額3,652,801,604円、歳出総額3,474,132,673円、歳入歳出差引額178,668,931円となり、これから翌年度に繰越すべき財源105,209,000円を差引いた実質収支額は73,459,931円となっています。実質収支額のうち37,000,000円を地方自治法第233条の2の規定により財政調整基金に積立ており、残りの36,459,931円を翌年度へ繰越しております。

	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度繰越	実質収支	積立	純繰越額
平成23年度	3,652,802	3,474,133	178,669	105,209	73,460	37,000	36,460
平成22年度	3,499,121	3,315,874	183,247	115,434	67,813	34,000	33,813
平成21年度	4,228,284	4,113,902	114,382	54,491	59,891	30,000	29,891
前年度比較	153,681	158,259	△ 4,578	△ 10,225	5,647	3,000	2,647

決算の規模が増加していますが、これは主に補助港湾建設費の増によるもので、次の表に示されるようにこの事業だけで481,351,116円の増加が大きく影響を及ぼしています。

(単位：千円)			
港湾建設費（補助）			
	H23	H22	増減
歳出決算額	697,669	216,318	481,351
【財源内訳】			
国庫支出金	540,304	154,776	385,528
村債	128,700	42,100	86,600
一般財源	28,665	19,442	9,223

地方交付税等の推移

(単位：千円、%)

年度	交付税									臨時財政		総計			
	普通交付税			特別交付税			地方交付税計			対策債発行					
	交付額	構成	増減額	交付額	構成	増減額	交付額	構成	増減額	発行額	構成	普+特+臨	構成	増減額	
	a			b			c=a+b			d		e=c+d			
19	1,336,546	26.6	9,332	222,834	4.4	△ 10,222	1,559,380	31.0	△ 890	43,200	0.9	1,602,580	31.9	△ 5,290	
20	1,380,049	33.3	43,503	242,390	5.9	19,556	1,622,439	39.2	63,059	40,500	1.0	1,662,939	40.2	60,359	
21	1,404,539	33.2	24,490	236,015	5.6	△ 6,375	1,640,554	38.8	18,115	62,800	1.5	1,703,354	40.3	40,415	
22	1,444,627	41.3	40,088	241,015	6.9	5,000	1,685,642	48.2	45,088	70,200	2.0	1,755,842	50.2	52,488	
23	1,359,020	37.2	△ 85,607	230,393	6.3	△ 10,622	1,589,413	43.5	△ 96,229	61,600	1.7	1,651,013	45.2	△ 104,829	

● 歳入

歳入決算額3,652,801,604円は、前年度に比較して153,680,802円(4.4%)の増となっています。

この大きな減少は、前述したように補助港湾建設費の増による影響が大きく、この事業だけで国庫支出金が385,528,000円、地方債が86,600,000円それぞれ増加し、併せて、472,128,000円の増となっています。

						(単位：千円)	
	年度別款別歳入額					平成23年決算前年度比	
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	増減額	増減率
村税	74,711	72,982	79,206	76,570	73,193	△ 3,377	△ 4.4
地方譲与税	26,395	26,820	25,537	25,325	25,129	△ 196	△ 0.8
利子割交付金	265	261	202	215	131	△ 84	△ 39.1
配当割交付金	139	39	31	28	83	55	196.4
株式等譲渡所得割交付金	66	9	12	31	13	△ 18	△ 58.1
地方消費税交付金	4,826	4,687	4,834	4,824	4,988	164	3.4
自動車取得税交付金	7,019	6,970	4,280	3,721	3,105	△ 616	△ 16.6
地方特例交付金	374	324	1,931	4,038	5,827	1,789	44.3
地方交付税	1,559,380	1,622,439	1,640,554	1,685,642	1,589,413	△ 96,229	△ 5.7
分担金及び負担金	2,180	1,842	1,165	1,996	5,776	3,780	189.4
使用料及び手数料	67,286	62,935	58,194	54,801	57,830	3,029	5.5
国庫支出金	1,323,298	1,144,825	1,182,523	484,304	652,967	168,663	34.8
県支出金	357,374	477,916	397,577	397,085	497,908	100,823	25.4
財産収入	18,048	29,334	19,090	19,242	15,272	△ 3,970	△ 20.6
寄附金	0	3,369	2,197	996	2,257	1,261	126.6
繰入金	446,345	218,727	251,519	378,549	250,605	△ 127,944	△ 33.8
繰越金	180,892	36,538	72,369	84,381	149,247	64,866	76.9
諸収入	19,663	15,463	12,963	58,173	24,658	△ 33,515	△ 57.6
村債	936,900	412,800	474,100	219,200	294,400	75,200	34.3
合計	5,025,161	4,138,280	4,228,284	3,499,121	3,652,802	153,681	4.4
増減額	1,136,908	△ 886,881	90,004	△ 729,163	153,681	—	—

・ 歳出

歳出決算額3,474,132,673円は、前年度に比較して158,258,940円(4.8%)の増となっています。

これは、補助港湾建設費の増加が大きく影響しています。

						(単位：千円)	
	年度別目的別歳出額					平成23年決算(%)	
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	構成比	前年比
議会費	30,992	34,065	34,259	33,907	48,745	1.4	43.8
総務費	491,567	1,105,443	1,419,241	866,659	732,858	21.1	△ 15.4
民生費	104,149	105,644	97,776	135,791	170,015	4.9	25.2
衛生費	233,549	227,048	231,696	264,914	278,283	8.0	5.0
農林水産業費	167,243	214,072	222,612	401,727	396,713	11.4	△ 1.2
商工費	116,576	168,844	127,079	69,939	76,407	2.2	9.2
土木費	731,729	1,153,797	1,131,610	460,438	1,048,006	30.2	127.6
消防費	67,376	29,067	16,295	52,692	22,659	0.7	△ 57.0
教育費	276,243	130,344	140,214	193,401	147,033	4.2	△ 24.0
災害復旧費	810,838	1,932	787	0	28,760	0.8	#DIV/0!
公債費	1,938,361	866,655	692,333	836,406	524,654	15.1	△ 37.3
合 計	4,968,623	4,036,911	4,113,902	3,315,874	3,474,133	100.0	4.8
増 減 額	1,296,262	△ 931,712	76,991	△ 798,028	158,259	—	—
増減率(%)	35.3	△ 18.8	1.9	△ 19.4	4.8	—	—

主な増減については、次ようになっていきます。

議会費の増は、議員年金制度の廃止に伴い議員報酬手当等費で前年度比13,477,589円(45.3%)増が影響しています。

総務費の減は、積立基金費で前年度比76,686,661円(20.8%)減、船舶特会繰出金(公債費)の前年度比10,105,000円(20.8%)減、地域情報通信基盤整備事業の完了で前年度比182,784,000円(皆減)に対し、空家利活用事業の前年度比41,106,089円(1518.9%)増、テレビ共同受信施設整備事業の前年度比37,922,138円(皆増)等が影響をしています。

民生費の増は、介護小規模多機能事業所を整備した社会福祉施設費の前年度比16,565,793円(2222.1%)増、重点分野雇用創造事業(小規模多機能事業所運営)で前年度比9,733,151円(81.9%)増、地域支え合い事業の前年度比6,624,374円(皆増)等が影響しています。

衛生費の増は、特定離島(遠隔医療対策)で前年度比16,380,000円(皆増)、簡易水道特別会計繰出金の前年度比10,932,871円(42.3%)増、診療所施設整備事業の前年度比9,074,100円(93.3%)減、医師派遣事業費の前年度比3,706,695円(11.3%)減、診療所一般経費の前年度比2,553,567円(7.6%)減、特定離島(塵芥処理車)の前年度比11,555,120円(皆減)、村営住宅合併処理浄化槽整備工事費の前年度比8,610,000円(皆増)が影響しています。

農林水産業費の減は、畜産振興一般経費で前年度比69,710,642円(96.8%)減、口蹄疫対策で前年度費11,939,145円(皆減)、地域活性化きめ細かな臨時交付金事業で前年度比20,808,428円(皆増)、地域振興(諏訪之瀬島農産物集出荷場アクセス道路整備)で前年度比16,050,000円(皆増)、特定離島(共同利用農業施設整備)で前年度比11,200,000円(皆増)、就業者育成事業で前年度比10,598,000円(1380.2%)増、特定離島(特用林産物)の前年度比26,500,918円(111.8%)増、特定離島(鮮度保持施設)の前年度比19,569,980円(99.8%)減が影響しています。

商工費の減は、地域振興(生活利便性改善)の前年度比12,000,000円(皆増)地域活性化きめ細かな臨時交付金事業で前年度比6,363,000円(51.1%)減が影響しています。

土木費の増は、過疎対策道路新設改良費で前年度比22,835,000円(皆減)、地域活性化・経済危機対策臨時交付金及びきめ細かな臨時交付金を活用した道路整備費で前年度比13,250,000円(皆減)、単独道路新設改良費で前年度比11,171,753円(51.5%)減、特定離島ふるさとおこし推進事業を活用した道路整備費で前年度比19,472,000円(60.7%)増、道路維持費で前年度比8,828,433円(111.7%)増、地すべり対策事業費で前年度比6,594,000円(682.6%)増、補助港湾建設費(庁費)で前年度比480,650,000円(247.6%)増、港湾管理費内の特定離島ふるさとおこし推進事業を活用した事業で前年度比112,810,000円(146.7%)増、定住促進住宅改修事業で前年度比9,128,260円(皆減)が影響しています。

消防費の減は、中之島消防車庫の解体・建設に係る事業費の前年度比25,641,000円(皆減)、J-ALERT機器整備工事費の前年度比7,102,200円(皆減)が影響しています。

教育費の減は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業で前年度比13,335,000円(皆減)、屋外環境施設整備事業や地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用した小学校建設費で前年度比30,082,500円(91.2%)減、小学校維持補修費で前年度比20,131,249円(125.2%)増、学校情報通信環境整備事業費で前年度比36,617,836円(皆減)が影響しています。

災害復旧費の増は、新たに農林水産施設災害復旧費が10,923,780円、公共土木施設災害復旧費が15,497,178円、文教施設災害復旧費が921,935円、その他施設災害復旧費が1,417,500円を計上したことが要因です。

公債費の減は、元金償還で前年度比305,177,380円(40.7%)減、利子償還で前年度比6,575,096円(7.6%)減となっています。元金償還をさらに区別すると通常償還分で前年度比5,177,380円(1.2%)減、繰上げ償還分で前年度比300,000,000円(皆減)となっています。利子償還も同様に区分すると通常償還分で前年度比5,232,300円(6.2%)減、繰上げ償還分で前年度比346,176円(皆減)、前借分利子で996,620円(67.8%)減となっています。

地方債現在高の推移(一般会計)

(単位:千円)

区分	H23	H22	H21	23-22
公共事業等債	3,317,676	3,617,235	4,221,379	△ 299,559
一般単独債	5,103	6,046	6,965	△ 943
義務教育債	122,389	127,835	130,624	△ 5,446
辺地債	488,322	500,633	500,254	△ 12,311
補助災害債	23,702	28,789	36,197	△ 5,087
単独災害債	2,658	2,711	3,159	△ 53
過疎債	377,813	347,456	311,517	30,357
財源対策債	105,200	0	0	105,200
減税補てん債	3,961	4,374	4,781	△ 413
臨時税収補	1,372	1,586	1,794	△ 214
臨時財政対策	564,789	526,782	477,616	38,007
地方債現在高	5,012,985	5,163,447	5,694,286	△ 150,462

性質別歳出額（地方財政状況調査）						（単位：千円）		
	年度別性質別歳出額					平成23年決算		
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	構成比	前年比	
						(%)	(千円)	(%)
義務的経費	2,219,641	1,245,513	1,077,459	1,214,726	903,774	26.0	△ 310,952	△ 25.6
人件費	357,928	358,514	362,990	349,393	352,603	10.2	3,210	0.9
扶助費	22,929	20,344	22,136	28,927	26,517	0.8	△ 2,410	△ 8.3
公債費	1,838,784	866,655	692,333	836,406	524,654	15.1	△ 311,752	△ 37.3
投資的経費	1,959,793	2,067,496	2,046,542	1,100,297	1,647,814	47.5	547,517	49.8
普通建設費	1,148,955	2,065,564	2,045,755	1,100,297	1,618,990	46.7	518,693	47.1
災害復旧費	810,838	1,932	787	0	28,824	0.8	28,824	皆増
その他経費	789,189	723,602	989,901	1,000,851	918,698	26.5	△ 82,153	△ 8.2
物件費	252,001	278,828	323,555	338,810	380,591	11.0	41,781	12.3
維持補修費	5,104	28,128	15,221	3,077	4,362	0.1	1,285	41.8
補助費等	178,202	88,318	100,191	167,081	123,259	3.6	△ 43,822	△ 26.2
積立金	255,000	227,819	381,159	369,037	292,351	8.4	△ 76,686	△ 20.8
繰出金	98,882	100,509	169,775	117,196	118,135	3.4	939	0.8
出資・貸付金	0	0	0	5,650	0	0.0	△ 5,650	皆減
合計	4,968,623	4,036,611	4,113,902	3,315,874	3,470,286	100.0	154,412	4.7

人件費の増は、地方公務員共済組合等負担金で前年度比11,472千円（26.1%）増、委員等報酬で前年度比4,582千円（8.2%）増に対し、一般会計負担職員の減で前年度比3,596千円減、後期高齢者医療広域連合への職員出向で前年度比4,373千円減、及び22年度末定年退職者2名があったことなどにより、職員給で前年度比12,819千円（8.3%）減が影響しています。

扶助費の減は、老人福祉施設措置費で前年度比3,154千円（25.3%）減が影響しています。

公債費の減は、繰上げ償還分で前年度比300,346千円（皆減）となっていることが影響しています。

普通建設費の増は、補助港湾改修事業で前年度比481,280千円（248.8%）増、港湾関連整備費で前年度比131,328千円（131.2%）増、住宅整備費で前年度比34,344千円（252.5%）増が影響をしています。

物件費の増は、ふるさと再生特別基金事業で前年度比16,026千円(187.9%)増、本土復帰60周年記念事業で前年度比12,993千円(皆増)、畜産に係るダニ駆除対策で前年度比10,125千円の増、介護事業所の運営に係る地域支え合い体制づくり事業及び介護事業所運営支援に前年度比11,955千円の増が影響しています。

維持補修費の増は、道路、港湾、住宅の維持管理に係る土木費で前年度比1,000千円(53.6%)増が影響しています。

補助費等の減は、22年度に支出した団体営草地開発補助国県償還金の前年度比50,476千円(皆減)、及び畜産団体経営支援交付金の前年度比14,131千円(95.7%)減に対し、就業者支援事業の前年度比10,598千円(1379.9%)増、地域交通活性化事業5,531千円(64.0%)増が影響しています。

積立金の減は、財政調整基金積立金で前年度比80,000千円(66.7%)減が影響しています。

経常収支比率の推移

区分	H23	H22	H21	23-22
人件費	20.0	18.3	18.4	1.7
扶助費	1.2	1.2	1.1	0.0
公債費	33.9	32.6	37.8	1.3
物件費	10.4	9.2	8.5	1.2
維持補修費	0.2	0.2	1.0	0.0
補助費等	2.5	2.3	3.7	0.2
繰出金	3.4	3.1	2.9	0.3
合計	71.6	66.8	73.3	4.8

公債費比率(実質公債費比率)の推移

区分		23	22	21	20	19	18	(23-22)
公債費比率	単年度	△ 2.9	△ 4.9	△ 1.5	6.7	23.8	28.7	2.0
公債費負担比率	単年度	24.8	37.3	33.1	42.2	51.9	43.6	△ 12.5
実質公債費比率	単年度	△ 6.5	△ 8.3	△ 4.3	3.0	20.7	26.3	1.8
	3年平均	△ 6.3	△ 3.1	6.4	16.6	23.8	26.6	△ 3.2
起債制限比率	単年度	△ 7.3	△ 9.0	△ 5.9	2.4	20.0	25.7	1.7
	3年平均	△ 7.4	△ 4.2	5.5	16.1	23.6	25.6	△ 3.2

十島村財政諸数値の過年度の推移

(単位:千円・%)

年度		H23	H22	H21	(23-22)	
面積(k㎡)		101.36	101.35	101.35	0	
人口	国勢調査	657	673	673	△ 16	
	住民基本台帳(年度末3.31)	579	576	579	3	
	人口密度(国調)	6.5	6.5	7	0	
決算額	歳入	歳入総額	3,648,955	3,499,121	4,228,285	149,834
		市町村民税	22,952	25,419	25,083	△ 2,467
		固定資産税	45,546	46,621	49,150	△ 1,075
		軽自動車税	1,555	1,511	1,542	44
		地方交付税	1,589,413	1,668,627	1,640,554	△ 79,214
		普通交付税	1,359,020	1,444,000	1,404,539	△ 84,980
		特別交付税	230,393	224,627	236,015	5,766
	歳出	歳出総額	3,470,286	3,315,874	4,113,903	154,412
		普通建設事業	1,618,990	1,100,297	2,045,755	518,693
		公債費	524,654	836,406	692,333	△ 311,752
財政指標等	標準財政規模		1,533,150	1,625,547	1,581,049	△ 92,397
	実質収支比率		4.8	4.2	3.8	0.6
	経常収支比率		71.6	66.8	73.3	4.8
	実質公債費比率	3年平均	△ 6.3	△ 3.1	6.4	△ 3.2
	財政力指数	3年平均	0.06	0.06	0.06	0.00
現在高	積立金現在高		2,577,591	2,500,940	2,469,903	76,651
	地方債現在高(特定資金含)		5,012,985	5,163,447	5,694,286	△ 150,462
一人当り	歳出決算額		5,994	5,757	7,105	237
	普通建設事業費		2,796	1,910	3,533	886
	積立金現在高		4,452	4,342	4,266	110
	地方債現在高		8,658	8,964	9,835	△ 306
	地方債発行額		508	381	819	128
	公債費(償還金)		906	1,452	1,196	△ 546